

# 岩手県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス検査陽性について（野鳥国内 41、42、43 例目）

令和 4 年 3 月 2 日（水）

<岩手県同時発表>

岩手県久慈市で令和 4 年 2 月 21 日（月）及び 22 日（火）に回収され、2 月 28 日（月）に遺伝子検査で A 型鳥インフルエンザウイルス陽性となったオオハクチョウ 2 羽及びハシブトガラス 1 羽について、3 月 1 日（火）に 3 羽全てから高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5 亜型）が検出された旨の報告がありました。

## 1. 経緯

- 2 月 21 日（月） ・ 岩手県久慈市内で死亡していたオオハクチョウ 1 羽を回収
- 2 月 22 日（火） ・ 岩手県久慈市内で死亡していたハシブトガラス 10 羽及びオオハクチョウ 1 羽を回収（オオハクチョウについては前日回収された 1 羽とあわせて計 2 羽を、カラスについては 10 羽のうち 1 羽を検査機関に送付）
- 2 月 28 日（月） ・ オオハクチョウ 2 羽及びハシブトガラス 1 羽について、国立環境研究所で遺伝子検査を実施した結果、A 型鳥インフルエンザウイルス遺伝子の陽性反応
- 3 月 1 日（火） ・ 国立環境研究所で病原性の確認検査を実施した結果、3 羽全てから高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5 亜型）を検出

## 2. 今後の対応

- ・ 岩手県では、野鳥監視重点区域内における野鳥でのウイルスの感染範囲の状況把握、感染源の推定や更なる感染拡大を防止するための基礎情報を得ることを目的とした緊急調査（鳥類調査、死亡野鳥調査等）を実施しており、引き続き、野鳥の監視を継続します。
- ・ 野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルは、国内複数箇所が高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、令和 3 年 11 月 11 日付けで「対応レベル 3」に引き上げており、引き続き、野鳥における監視を強化します。

## 3. 留意事項

- (1) 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、冷静な行動をお願いします。
- (2) 同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡している場合には、お近くの都道府県や市町村役場に御連絡ください。

(参考) 野鳥との接し方について

[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/2017yachotonosessikata.pdf](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/2017yachotonosessikata.pdf)

**【取材について】**

現場周辺での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

**【参考情報】**

環境省ホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/index.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/index.html))

「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」

([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/manual/pref\\_0809.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html))

|                      |
|----------------------|
| 環境省自然環境局野生生物課        |
| 鳥獣保護管理室              |
| 代 表 03-3581-3351     |
| 直 通 03-5521-8285     |
| 室 長 東岡 礼治 (内線 6470)  |
| 係 長 庄司 亜香音 (内線 6473) |
| 担 当 宮澤 結有 (内線 6477)  |